

当事者研究のための ミックスドメソッド入門

高木 廣文
天使大学看護栄養学部

本日の話題

1. 研究方法の分類について
2. 研究方法による特徴
3. Mixed Methodでの研究方法の役割
4. 当事者研究とMixed Method
5. 当事者研究の研究計画を考える

『看護はアートでありサイエンスである』
F. Nightingale



3

研究方法論

研究対象からの収集データによる分類：

- ・ 量的研究
- ・ 質的研究
- ・ **Mixed Method**（混合研究法）

4

研究方法論の対立？

量的研究と質的研究の対立について：

- ・ Evidence Based Approach 重視の動向
- ・ エビデンスと結果の一般化



質的研究への批判：質的研究は科学か？

5

量的研究と質的研究の定義は何か？

量的研究：

「対象からデータが量的に測られた研究」

質的研究：

「対象からデータが質的に測られた研究」

Mixed Method（混合研究法）：

「質的研究と量的研究を混合する」

6

量的研究について

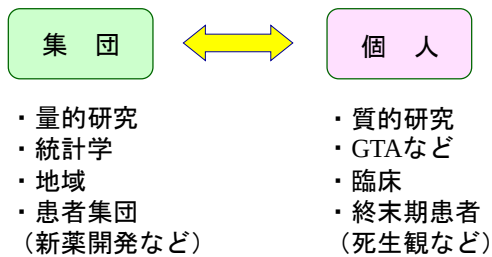
- ・対象からデータが量的に測られる場合
というのは、どのような場合なのか？
- ・「量的に測定ができる」とは
どのような状況なのか？
- ・量的研究の対象の【本質】は何なのか？

質的研究について

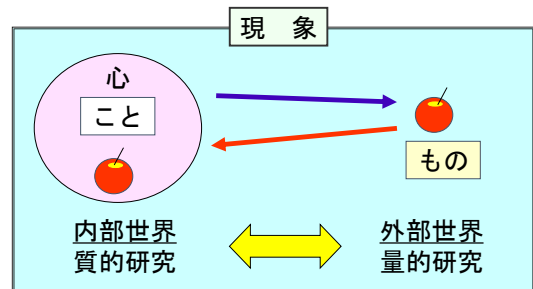
GTA、現象学的アプローチ、ナラティブ分析、エスノグラフィーなど…

- ・対象からデータが質的にしか測ることが
できない場合というのは、どのような場合
なのか？
- ・「質的（言語テキスト）にしかデータが
得られない」とはどのような状況なのか？
- ・質的研究の対象の【本質】は何なのか？

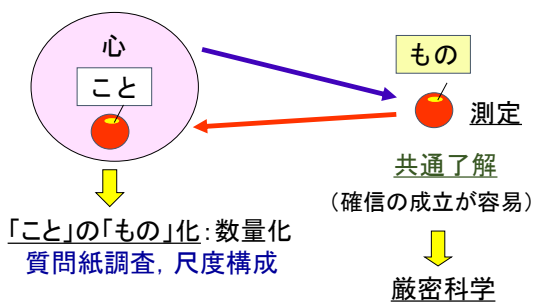
研究対象による区分



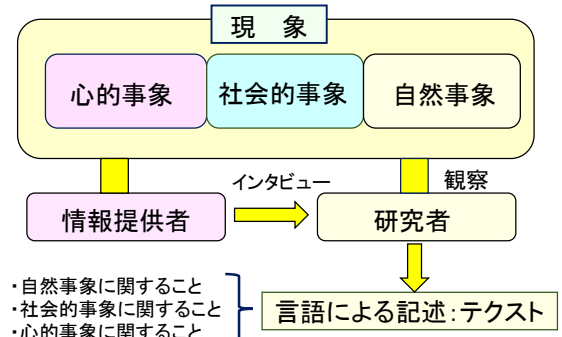
素朴な二元論的世界観と研究の分類



量的研究の方法



質的研究とテキストの分類



Mixed Method (混合研究法)

トライアングレーションの一種

(Triangulation 三角測量法)

- ・複数の調査・研究方法などを組み合わせる



研究の信頼性や正確性を高める

量的研究法と質的研究法を組み合わせる

13

本日の話題

1. 研究方法の分類について
2. 研究方法による特徴
3. Mixed Methodでの研究方法の役割
4. 当事者研究とMixed Method
5. 当事者研究の研究計画を考える

研究方法による特徴(1)

- ・量的研究：数量化 ↔ 多人数・無作為化
集団の一般的な特性・傾向性の数値化

- ・データは数値：
統計学的解析の実施
 - ・推測統計学：結果の普遍化・一般化
 - ・統計学的仮説検定、推定
 - ・記述統計学：対象集団の特性の記述

15

研究方法による特徴(2)

- ・質的研究：言語化 ↔ 少人数可
対象者の心的現象・経験などの記述や
モデル化

- ・データは言語テキスト：
主観的なテキスト解釈が必要：
 - ・GTAなど

16

本日の話題

1. 研究方法の分類について
2. 研究方法による特徴
3. Mixed Methodでの研究方法の役割
4. 当事者研究とMixed Method
5. 当事者研究の研究計画を考える

Mixed Methodでの研究方法の役割

研究方法の組み合わせ：

- ・量的研究が主—質的研究が従
- ・質的研究が主—量的研究が従
- ・量的研究と質的研究が同等

- ・時系列的にどちらが先か、同時か？

18

量的研究が主－質的研究が従

- ・新しい尺度を作る
 - ・質的研究で新「概念」を探索・記述する
 - ・量的研究で新尺度の信頼性・妥当性検討

- ・質問紙調査などの量的研究
 - ・自由記述回答のテキスト解釈
 - ・対象者から無作為抽出した少人数に対してインタビューの実施（例：当事者の会で質問紙調査、その後、面接など）
- 今後の研究の問題点・方向性など

23

質的研究が主－量的研究が従

量的研究のもつ意味：対象者集団の明確化



質的研究の情報提供者の母集団の特定化
・記述統計的手法を併用することで
対象者の背景特性が明確に記述できる

- ・他の資料がある場合、比較ができる
 - ・特殊な集団なのか、普通の集団なのか
- ・質的研究結果の量的評価は不可

24

量的研究と質的研究が同等

質的研究と量的研究の同時遂行：

- ・研究計画が難しい（と思う）
- ・量的研究は多人数が必要＋無作為抽出
- ・推測統計学の結果とテキスト解釈の結果の統合的解釈は簡単ではない（と思う）

- ・研究経費の多寡、人材の有無などに依存

25

本日の話題

1. 研究方法の分類について
2. 研究方法による特徴
3. Mixed Methodでの研究方法の役割
4. 当事者研究とMixed Method
5. 当事者研究の研究計画を考える

当事者研究について

当事者研究：

ある事象（病気や障害など）の当事者が自分自身を対象として研究することで、自身を客観視することが可能となり、その状況を治療したり解決したりする方向に導こうとする方法論を含む研究

グループでのディスカッション、語りなど

→ 基本的には主に質的研究

23

当事者研究による現象のモデル化

当事者の語りなど



カテゴリーの抽出



モデル化（理論構築）



理論の検証

24

質的研究での量的研究の役割①

①対象者の背景の記述：

性別年齢別分布などの属性

比較検討

偏りの有無など

母集団の属性（既知ならば）

- ・ 未知: 当事者の会などでの量的研究の実施（質問紙調査など）

25

質的研究での量的研究の役割②

②抽出したカテゴリーの確認（普遍化）：

- ・ 当事者の会などでの量的研究の実施：質問紙調査などで、より多くの対象者にカテゴリーの存在を調査し確認する



現象のモデル構築

26

質的研究での量的研究の役割③

③新しい尺度を作る：

- ・ 得られたカテゴリーを数量的に測るための「ものさし」を作る

- ・ 構成概念の検討
- ・ 質問紙の作成
- ・ 調査の実施（当事者の会など）
- ・ 統計学的分析

27

本日の話題

1. 研究方法の分類について
2. 研究方法による特徴
3. Mixed Methodでの研究方法の役割
4. 当事者研究とMixed Method
5. 当事者研究の研究計画を考える

自分は何の当事者か？

どのような研究にするか計画を考える

- ・ 心的な現象：質的研究
 - ・ 高齢者の死生観と宗教、etc
- ・ ある集団の傾向性：量的研究

昨年4カ月ほど「断酒」経験：

- ・ マロリー・ワイス症候群で入院
- ・ 父親が食道破裂で死んでいる
- ・ 「死」は怖い、etc

➡ 断酒する当事者研究の研究計画は？

28